

にぎわい Vol. 24 2022年 NEWS



日進市にぎわい交流館
公式キャラクター
「わいわい」

Contents

- [特集] 市民活動団体インタビュー
- にぎわい掲示板
- ワンデイシェフ・マーケット・ギャラリー
- にっしんわいわいフェスティバル2022



共に育ち
共に創る
未来

[特集] 市民活動団体インタビュー

黒田忠晃さん

- NPO 法人 親育ネットワーク
- ラクロサポーター
- NPO 法人 Earth as Mother
- にっしん educa+
- 日進市未来を創る条例ジャーズ

きょういく おやいく

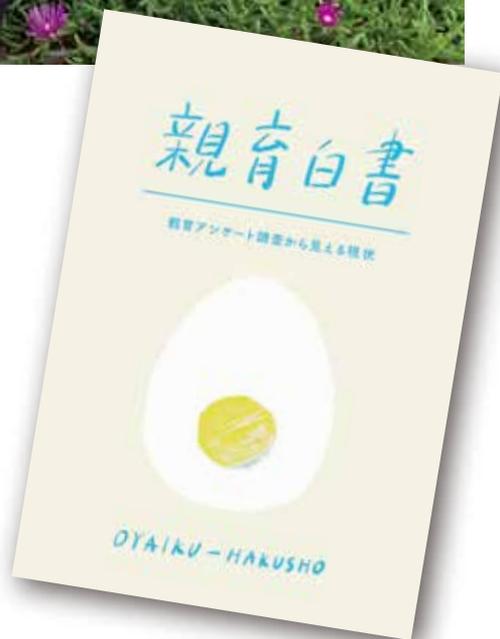
「共育」「親育」という言葉を耳にしたことがあるだろうか？

「共育」は、大人も子どもも共に学び育っていこうということ。「親育」は親の育ちのことで、共育の重要な部分を担うものだ。

「人生の目的を持った人たちが、主体的に行動し、自分らしく、幸せを感じて、自分の道を歩む社会」を目指し、共育の活動を続ける黒田さん。学生から大人まで幅広い層を対象にした学びの場を運営する傍ら、複数の団体の代表や理事も務めている。

授業の前には子どもたちと一緒に遊び、畑では「いも兄ちゃん」として農作業に励み、イベントや講座の講師として各地を飛び回り、2021年には「親育白書」を発行した。2020年からは「にっしんわいわいフェスティバル」の実行委員も務めている。

ナチュラルウェブに黒ぶち丸メガネがトレードマーク。「くろちゃん」の愛称で親しまれている黒田さんにお話をうかがうと、温厚な外見からは想像しきれないほど、ゆるぎない志が見えてきた。





子どもの頃からの夢

幼い頃からの夢は先生になること。一度は一般企業に就職したが、教える仕事への夢を断ち切れず、大学時代にアルバイトをした塾業界に転職した。しかしそこで目の当たりにしたのは、塾同士の進学実績の競争に子どもたちが巻き込まれている現実だった。

「塾の『与えてやらせる教育』では、子どもも親も受け身になってしまう。それにテストの成績ありきで子どもを評価している。このままでその子の才能や資質が開花するのだろうか」

黒田さんの思い描く「共育」への挑戦がここから始まった。

市民活動との出会い

塾を退職後、半年間かけて両親を説得しながら、NPO 法人が開講する起業セミナーに通った。それが市民活動との最初の出会いだ。

その後、起業する場所を探していたとき、日進のNPOが古民家でカフェを開くという新聞記事を読んだ。それが折戸町笠寺山の「椿館」だった。市民活動のキーワードが気になってカフェへ行ってみると、オーナーが話しかけてくれた。やりたいことや考えていることを話したところ、「ここでやってみたら」と言ってくれたそうだ。

そして2009年、数学コーチングスクール（現 La C Lo）を開校した。

「起業セミナーに行っていなかったら、椿館とつながっていなかったら、市民活動の世界に入っていくことはなかったでしょう。自分が考えていたことは市民活動に近いものだったんだと思います」



2019年のまちミル博覧会でこんな授業したよ

共に育ち共に

1 「ハタモク × 親育ネットワーク」



7月・12月に開催予定
乞うご期待!

① 他業種・他世代の人との交流を通じて「働くことの目的は何か?」を一緒に考える、毎回好評のイベント。日進ではこれまでに5回開催。

2 「子ミュカ®ゼミ」



② 毎月開催している「子親の学びの場、安心して作る場となっている。」

共に育つ場を創るために

親のあり方が子どもの育ちに大きく影響すると、黒田さんは経験的に学んできた。

「親がイキイキしていれば、子どももイキイキしてくるものです。逆に親の生きづらさは子どもに伝播してしまいます。負の連鎖をさせないことが大事なんです」

「子どもが生まれたときは『幸せになってほしい、元気に育ててほしい』と純粋に思っている、大きくなるにつれて『幸せのために勉強ができるようになってほしい』と思ってしまう。さらには幸せよりも勉強ができることが目的になってしまうという、手段の目的化が起きている。だからこそ、大人も子どもも共に育つ場を創っていかねばと思いました」

自身の育ちを学びたい親や、悩みを抱えている親が周囲に多くいると実感した黒田さんは、今まで学んだことをパッケージにして講座を始めた。PTAに招かれての講演や、学校での道徳の授業も積極的に行ってきた。

その歩みの現在地というべきものが、2021年に親育ネットワークが発行した「親育白書」だ。メンバーと共にアンケートを作り、約400人からの回答をまとめた。

子育ての課題、親子の心の課題、社会の課題についての質問からは、現代の親子が置かれている状況や、よりよい育ちの環境のためのヒントが浮かび上がってくる。アンケートの回答には「自分の振り返りができてよかった」という声もあった。

「アンケートには、自身の子どもの頃や親との関係性などを振り返る質問も入れました。その問いかけも親育になったのかもしれない。変化が激しい時代ですし、継続的に調査していないと意味がないと思っています」

親育白書を発行するためにクラウドファンディングにも挑戦し、多くの支援が集まった。

「クラウドファンディングをきっかけに知って、とても共感したいと言ってくれた人がいました。新たな理解者・支援者ができたことは嬉しいこと。今後さらに多くの人に親育を知ってもらいたいと思っています」

創る!さまざまな活動



「子ミュカ®セミナー」。
月1回ほど
オンライン中心に開催



3 日進アグリスクール
③ Earth as Mother が日進市から委託を受けている日進アグリスクール。農業を使わないオーガニック農法を学ぶことができる。

4 日進市子どもだけのまち



5



④ にっしん educa+ が日進市主催の「日進市子どもだけのまち」事業のファシリテートをしている。／⑤ 子育てに悩む人への心の処方箋。黒田さんの言葉が心を楽にするヒントになる。

「子ミュカ®セミナー」。
話せる場、横のつながり

③ Earth as Mother が日進市から委託を受けている日進アグリスクール。農業を使わないオーガニック農法を学ぶことができる。

伝えたい大切なこと

14年間の活動で心に残ってること、伝えたいことを聞いた。
「学校の懇談会で僕、毎回泣くんです。人のために何かをやるようになったとか自分の道が見えてきて一生懸命やってるとか。たくさんの子供を見てきて、その成長ぶりはどれも心に残っています」

そう話す黒田さんの表情は優しく、とても嬉しそうだ。

「大事なのは『自立と自律と自己理解』だと子どもたちによく言っています。自分が何者か、どんな役割があるのかを早いうちから探求して、自分の好きなこと、興味のあることを自分の役割にすること。そうすれば自発的に動けるはずですよ」

楽しいことがあれば、同じくらいの苦しいことも絶対に出てくる。そこから逃げていると楽しさは生まれません。

これからの時代、たいていの仕事は人工知能に取って代わられる可能性がある。でも新しいものを考える仕事か、人の心をつかむ仕事は残る。人の心に寄り添える人、あなたじゃなきゃダメだって言われるような人になってほしい」

黒田さんの活動の軸は、「共育を通じて夢や目標を持てる人を育みたい」の思い一筋。いくつもの団体に所属しているが、目指すものはみな同じ、手法が違うだけだと言う。

共に育ち、その育ちを共に創っていくため、活動の場はさらに広がっていくかもしれない。それでも、共育にかける志は決して変わらない。これまでも、そしてこれからも。

NPO 法人 親育ネットワーク

親育の活動をしている団体や個人をつなげて、親育の重要性を伝えるために講座を開いたり情報を発信したりしている。



連絡先 Mail : oyaiku.network@gmail.com

ラクロサポーター

共育事業などを行い、人とのつながりを創り、主体性を育むことを目的に活動している。



連絡先 Mail : info@lacro-mcs.com

NPO 法人 Earth as Mother

共に助け合いながら暮らしていける循環型農業・福祉コミュニティ創造のために活動している。



連絡先 TEL : 052-684-8000
Mail : office@earthasmother.com

エデュケーターズ にっしん educa+

大人も子どもも共に育ち合い、誰もが居場所を持つまちを目指し、子どもの主体性を育む事業に関わる企画・運営をしている。

連絡先 mail : nisshin.educatas@gmail.com
f : <https://facebook.com/nisshin.educatas/>

日進市未来を創る条例ジャーズ

子どもたちが自分らしく生きられる社会を創ることを目的に、子ども条例を広める活動をしている。子どもメンバーが主体の団体。

連絡先 Mail : joreizyass@gmail.com

日進市市民自治活動推進補助金事業

サスティナブル共育ワークショップ 2

「共育」をキーワードに講師の話聞きながら、「サスティナブル(持続可能)な共育」とは何かを考えます。

①7月16日(土)・②8月7日(日)・③8月20日(土)

問合せ ラクロサポーター
Mail info@lacro-mcs.com
TEL 0561-76-3475
ホームページはこちらから→

日進アグリスクール

ベジたんぼ鍋作りコース

まだ空きあり

農業を使わないオーガニック農法を学びながら、サトイモや大根などを栽培し、加工までの過程を体験できる11月まで全5回のコース

問合せ NPO 法人 Earth as Mother
Mail office@earthasmother.com
TEL 052-684-8000
FAX 052-684-8008

にぎわい掲示板

にぎわい交流館 LINE 公式アカウントを開設しました。ランチ・マーケット・ギャラリー・一般向けイベント情報をお届けします

友だち登録してね！



毎日じゃないけど
ランチ再開したわい



お花でにぎわう交流館



アンネのバラは愛と平和のシンボル



今年もたくさん蕾をつけたサボテン。5月には、何と一度に10個も開花しました。一日で萎んでしまうので、開花に出会えたらラッキー！

市民サロンの新しい利用ルール（2022年1月から）

- 黙食、食事前後はマスク着用
- テーブルは2名掛け
- 利用は1時間程度まで
- おしゃべりは小さな声で、パーテーション越しに

水曜日 オールフォーユー

旬の食材を使った家庭的でボリュームなランチ



●ランチ 650円

第2・4木曜日 日進 LOVE ラボ 星のたね

みんなの「あったらいいな」をカタチにしていこう



●ランチ 650円 ●飲み物 200円

土曜日 名古屋学芸大学 Canteen

管理栄養学部の学生が作るランチ



●ランチ 500円 ●飲み物 200円

第2日曜日 日進絆子ども食堂

地域の子どもたちと大人たちの居場所



●ランチ 高校生以下無料・大人 500円
●飲み物 200円

手作りの品・こだわりの逸品がお買い得！

マーケット 10:00～16:00

(時間は出店者により異なる場合があります)

- 第1・2・4・5火 スマイルハウス
- 第2・4木、第3水 薔薇しかない花屋 Neo
- 第2木 手作りサークル PiPPI
- 第1金 オバンドウの会

月・金 ななサポ **NEW**
(お弁当・手作り品)

市民のみなさんの力作を見に来て！

ギャラリー 8:30～20:00

(最終日は 15:00 まで)

- 6/16(木)～6/29(水)
サンライフハートネス
「グループホーム小規模の作品展」
- 7/2(土)～7/15(金)
にしん地域猫の会
「飼い主のいない・飼い主のいなかった猫の小さな写真展」
- 7/16(土)～7/30(土)
花散里「シルバー写真クラブ展」

にしん わいわいフェスタ 2022

7月2日(土) 10:00 - 16:30 日進市民会館

<https://shimin-kouryu.net/event/25604>



日進市にぎわい交流館

開館時間 サロン 8:30～20:00 / 会議室 8:30～22:00
休館日 年末年始(12月28日～1月4日)
〒470-0122 愛知県日進市蟹甲町中島 277-1



電話 0561-75-6650
ファクス 0561-73-5810
電子メール nigiwai@me.ccnw.ne.jp
ウェブサイト <https://shimin-kouryu.net>

